

2023 年度特定研究奨励金 報告書

報告者所属・氏名

| | | | |
|----|------|----|------|
| 所属 | 国文学科 | 氏名 | 大橋直義 |
|----|------|----|------|

奨励金による研究活動・実績（具体的に記載）

本奨励金による成果として、下記の口頭発表を行った。

①大橋直義『『道成寺縁起』と日高川草紙絵―「応永七年奥書本」をめぐって』（2023 野沢セミナー、野沢温泉村ペンションシュネー、2023 年 8 月 20 日）

②大橋直義「寺社縁起の書誌学的検討にむけた現在地―料紙装飾・野線・能筆の家―」（歴史叙述とその文献研究会第 8 回例会、オンライン、2023 年 11 月 22 日）

③大橋直義「寺社の歴史叙述とその荘厳―料紙装飾と能筆の家―」（実践女子大学国文学科大学院生発表会、2023 年 12 月 2 日）

※口頭発表②③の内容は研究会の専門性の相違により、主な研究対象とした資料を異にしている。

なお、①および②③については現在、論文化に努めている。

申請時においてはゲストスピーカー 2 名を招聘して共同研究会を開催する予定であったが、研究チームの主要メンバーと相談の結果、2024 年度科研費の申請に際しては基盤 B で申請することとしたため、共同研究会は実施せず、主要メンバー各自が事前の調査を行うこととなった。